



サビエルが来日したコース

が中国共産党が認めたものだけで、秘密に地下組織の教会もあるらしいが詳しいことは知らない。

さて、サビエルといえば「イグナチオ・ロヨラ」抜きに考

えられない。イエズス会の創立者であるロヨラとはパリ大学に留学中に出会い、他の仲間と共にフランスのモンマルトルの聖堂で「清貧・貞潔・聖地巡礼」の誓願をたてる。

アジジのフランシスコが同志と共に「フランシスコ会」を創立したのと同じく、一番大きな違いは、イエズス会は東洋の宣教に力を入れたことだ。特にサビエルは東洋宣教中にヤジローという日本人に出逢って日本に関心を持つ。サビエルとロヨラは1622年に列聖されたが、この列聖式に日本人のペトロ岐部も参列しており、ここにもサビエルと日本の因縁のようなものを感じる。

尚、大分出身で殉教したペトロ岐部は2008年に長崎で、1877人の殉教者とともに列福された。

私はサビエルが生まれたサビエル城に昭和49年に訪れたが、頑丈な城塞は今もそのまま

の形を留めており、洗礼台や有名な微笑むキリスト像(写真)等々。サビエルもこの像を見て祈つたらしいが、それから間もなく500年が過ぎたと思うと、この間信仰は深化したのだろうかと考えさせられる。

勿論この傾向はスペインに限らず、多くの先進国でも利己主義・自己中心主義が蔓延している。イエズス会に限らず日本にある女子修道会への召し出しを希望する人は減少している。物質的には豊かにはなった今の社会。しかし、それが人間にとって豊かな方向に進んでいるかといえば考えざるを得ない。改めてサビエルの生き方に学ぶべきものが今、沢山あるのではと考えさせられる。

サビエルが来日したコース

「アジジの聖フランシスコ」に因んでフランシスコを名乗る、現教皇のフランシスコ教皇。フランススコで、もう一人忘れてならないのは「フランシスコ・サビエル」。日本には鹿児島、長崎、京都、山口、大分など僅か2年宣教した人物である。

今の時代と違い、掲載地図のように、アフリカの南端、喜望峰を廻り、アジア諸国を経て日本に着いたのは1549年のことだ。歴史があるが、存在はする

が中国共産党が認めたものだけで、秘密に地下組織の教会もあるらしいが詳しいことは知らない。

さて、サビエルといえば「イグナチオ・ロヨラ」抜きに考

えられない。イエズス会の創立者であるロヨラとはパリ大学に留学中に出会い、他の仲間と共にフランスのモンマルトルの聖堂で「清貧・貞潔・聖地巡礼」の誓願をたてる。

アジジのフランシスコが同志と共に「フランシスコ会」を創立したのと同じく、一番大きな違いは、イエズス会は東洋の宣教に力を入れたことだ。特にサビエルは東洋宣教中にヤジローという日本人に出逢って日本に関心を持つ。サビエルとロヨラは1622年に列聖されたが、この列聖式に日本人のペトロ岐部も参列しており、ここにもサビエルと日本の因縁のようなものを感じる。

尚、大分出身で殉教したペトロ岐部は2008年に長崎で、1877人の殉教者とともに列福された。

私はサビエルが生まれたサビエル城に昭和49年に訪れたが、頑丈な城塞は今もそのまま

の形を留めており、洗礼台や有名な微笑むキリスト像(写真)等々。サビエルもこの像を見て祈つたらしいが、それから間もなく500年が過ぎたと思うと、この間信仰は深化したのだろうかと考えさせられる。

勿論この傾向はスペインに限らず、多くの先進国でも利己主義・自己中心主義が蔓延している。イエズス会に限らず日本にある女子修道会への召し出しを希望する人は減少している。物質的には豊かにはなった今の社会。しかし、それが人間にとって豊かな方向に進んでいるかといえば考えざるを得ない。改めてサビエルの生き方に学ぶべきものが今、沢山あるのではと考えさせられる。

の形を留めており、洗礼台や有名な微笑むキリスト像(写真)等々。サビエルもこの像を見て祈つたらしいが、それから間もなく500年が過ぎたと思うと、この間信仰は深化したのだろうかと考えさせられる。

勿論この傾向はスペインに限らず、多くの先進国でも利己主義・自己中心主義が蔓延している。イエズス会に限らず日本にある女子修道会への召し出しを希望する人は減少している。物質的には豊かにはなった今の社会。しかし、それが人間にとって豊かな方向に進んでいるかといえば考えざるを得ない。改めてサビエルの生き方に学ぶべきものが今、沢山あるのではと考えさせられる。

の形を留めており、洗礼台や有名な微笑むキリスト像(写真)等々。サビエルもこの像を見て祈つたらしいが、それから間もなく500年が過ぎたと思うと、この間信仰は深化したのだろうかと考えさせられる。

勿論この傾向はスペインに限らず、多くの先進国でも利己主義・自己中心主義が蔓延している。イエズス会に限らず日本にある女子修道会への召し出しを希望する人は減少している。物質的には豊かにはなった今の社会。しかし、それが人間にとって豊かな方向に進んでいるかといえば考えざるを得ない。改めてサビエルの生き方に学ぶべきものが今、沢山あるのではと考えさせられる。

の形を留めており、洗礼台や有名な微笑むキリスト像(写真)等々。サビエルもこの像を見て祈つたらしいが、それから間もなく500年が過ぎたと思うと、この間信仰は深化したのだろうかと考えさせられる。

勿論この傾向はスペインに限らず、多くの先進国でも利己主義・自己中心主義が蔓延している。イエズス会に限らず日本にある女子修道会への召し出しを希望する人は減少している。物質的には豊かにはなった今の社会。しかし、それが人間にとって豊かな方向に進んでいるかといえば考えざるを得ない。改めてサビエルの生き方に学ぶべきものが今、沢山あるのではと考えさせられる。

の形を留めており、洗礼台や有名な微笑むキリスト像(写真)等々。サビエルもこの像を見て祈つたらしいが、それから間もなく500年が過ぎたと思うと、この間信仰は深化したのだろうかと考えさせられる。

勿論この傾向はスペインに限らず、多くの先進国でも利己主義・自己中心主義が蔓延している。イエズス会に限らず日本にある女子修道会への召し出しを希望する人は減少している。物質的には豊かにはなった今の社会。しかし、それが人間にとって豊かな方向に進んでいるかといえば考えざるを得ない。改めてサビエルの生き方に学ぶべきものが今、沢山あるのではと考えさせられる。



サビエル城にあるキリスト像



が中国共産党が認めたものだけで、秘密に地下組織の教会もあるらしいが詳しいことは知らない。

さて、サビエルといえば「イグナチオ・ロヨラ」抜きに考

えられない。イエズス会の創立者であるロヨラとはパリ大学に留学中に出会い、他の仲間と共にフランスのモンマルトルの聖堂で「清貧・貞潔・聖地巡礼」の誓願をたてる。

アジジのフランシスコが同志と共に「フランシスコ会」を創立したのと同じく、一番大きな違いは、イエズス会は東洋の宣教に力を入れたことだ。特にサビエルは東洋宣教中にヤジローという日本人に出逢って日本に関心を持つ。サビエルとロヨラは1622年に列聖されたが、この列聖式に日本人のペトロ岐部も参列しており、ここにもサビエルと日本の因縁のようなものを感じる。

尚、大分出身で殉教したペトロ岐部は2008年に長崎で、1877人の殉教者とともに列福された。

私はサビエルが生まれたサビエル城に昭和49年に訪れたが、頑丈な城塞は今もそのまま



サビエル城前で